

## 衛生委員会議事録

2024年4月15日 16時00分より、東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル内エムシーパートナーズ会議室において、エムシーパートナーズ株式会社の衛生委員会を開催した。  
(会議室内は事務局1名のみであり、各委員はオンラインにて出席)

出席者	委員（産業医）	古澤 真美
	委員（従業員代表）	櫻井 文代
	同（ ” ）	高梨 雅恵
	同（会社推薦兼事務局）	松田 明子
欠席者	委員（従業員代表推薦）	徳野 幸枝
	委員長（衛生管理者）	松村 美奈子
	委員（会社推薦）	川西 治美

開催にあたり、委員長欠席の為、委員長からのメッセージを伝達

1. 事務局から「労働災害状況」及び「交通災害状況」について、前月はいずれもゼロ災であった旨報告をした。
2. 次に事務局から、従業員の前月の労働時間について、別紙「3. 時間外労働状況」に基づき前年同月との対比等説明した。3月の平均残業時間について、昨年同月との差は26時間だった。最高残業時間となる方については、引継ぎの為、時間外が増えた。休日労働については、昨年同月と比べると27時間増え、工事関係の業務により、休日労働が増えた。残業時間・休日労働時間の最高時間は、休日労働の最高時間と同じ方で、4月からは工事も減る予定であると確認をしている。併せて80時間を超える方はいなかったと報告した。
3. 次に、古澤委員（産業医）から【麻疹】をテーマに講和いただき、医師監修の【こどもとおとなのワクチンサイト】<https://www.vaccine4all.jp/>を紹介いただき、麻疹について講和をいただいた。2月・3月に海外からの持ち込みにより流行しているため、ワクチン接種が不十分な場合は、追加接種を検討したいとお願いしたいとのことだった。帯状疱疹のワクチン接種についての質問があり、帯状疱疹に罹った場合、一部の方ではあるが、重い症状が残る場合もあるため、50歳以上についてはワクチン接種の検討をしたほうがよいとのことだった。その他に質問・意見等がないことを確認し本会を閉会した。

次回開催日：5月30日 月曜日 16時00分から

■時間外労働状況					3月
摘 要		当月	前年同月	差異	単位
対象者（パート除く）		82	77	+ 5人	
平均労働日数		16.9	20.6	- 3.7日	
平均休日労働日数		0.1	0.0	+ 0.1日	
平均労働時間(年休除く)		115.7	145.6	- 29.9時間	
残業時間	平均	9.0	9.6	- 0.6時間	
	最高	69.3	45.0	+ 24.3時間	
休日労働時間	平均	1.1	0.3	+ 0.8時間	
	最高	37.3	10.5	+ 26.8時間	
残業 + 休日労働	平均	10.1	10.0	+ 0.2時間	
	最高	71.0	45.0	+ 26.0時間	
	80時間超	0	0	+ 0人	
※残業及び休日労働はいずれも所定労働時間に対する値					

## 麻疹流行に対する麻しん含有ワクチン接種に関する考え方

2024年4月4日

予防接種推進専門協議会

現在国内で麻疹患者の報告が多くなっています。現在国内では定期接種として第1期として1歳～2歳未満に1回、第2期：5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間に1回接種していますが、年齢相応のワクチン接種をしていない方、特にこれまで麻しん含有ワクチン接種歴、ならびに罹患歴のない方が、現在感染者の多くを占めています。

麻疹は昨年から海外諸国では流行していますが、**麻疹は空気感染をする**ため、渡航者、並びに来訪者が増加している昨今、国内での麻疹ウイルスへの曝露の機会が増えていることが想定されます。定期接種対象年齢の人で年齢相応のワクチン接種を受けていない方、麻疹に罹患するリスクが高い人（免疫力が低下している人、妊婦さんなど）の周囲の方、並びに海外渡航予定者や訪問者と空間を共有する機会が多い方（観光業、技能研修生受け入れ先などの職員）は、ご自身の麻しん含有ワクチンの履歴を確認していただき、不足している場合は速やかにワクチン接種を行ってください。

一方で、国内で流通している乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン（以下、MRワクチン）の供給量には限度があります。また、現在のように、国内で麻疹が流行するとワクチン接種希望者が急増し、ワクチンの供給が追いつかない場合が生じます。従って予防接種推進専門協議会では以下のように優先順位を提案いたします。

優先度順位

- ① 第1期、第2期定期接種対象者 **（最優先）**
- ② 麻疹に罹患するリスクが高い人（免疫力が低下している人、妊婦さん等）の周囲の方\*  
\*妊娠中の風疹を予防するための、妊娠を希望する女性や妊婦さんの周囲の方へのMRワクチン接種も含みます
- ③ 海外渡航予定者や訪問者と空間を共有する機会が多い方
- ④ 年齢相応のワクチン未接種、並びに麻疹罹患歴なしの方

本来であれば渡航前に未接種未罹患者はワクチン接種を行っていただきたいところですが、流行予測調査事業（抗体保有率調査）の結果や麻疹の感染力、感染経路を考慮した場合、日本で麻しんワクチンが開発される以前に流行期を経験した50歳以上の方では、麻疹罹患歴のある方が多数を占めると考えられるため、50歳以上の方で海外渡航時にワクチン接種歴不明、未罹患あるいは罹患歴不明の場合は、抗体価検査を実施したうえで接種の

判断をしていただければと思います。

また風疹第5期定期接種対象者（昭和37年度～昭和53年度生まれの男性）は風疹抗体価を測定し、十分な風疹抗体価を保有しない方はMRワクチンを接種することになるため、麻疹に対するワクチンを定期接種として接種することが可能です。なお、風疹第5期定期接種は2025年3月31日までの時限措置のため、早めに検査を受けるようにしてください。